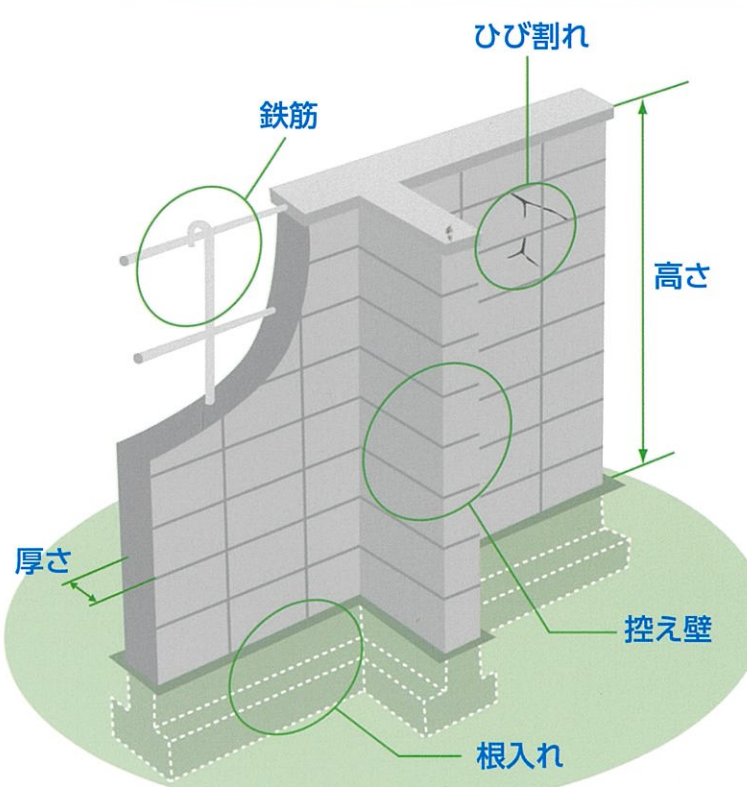


ブロック塀の安全確保について

平成30年6月18日に、大阪府を震源とする大地震が発生し、ブロック塀の倒壊による大きな被害がありました。

ブロック塀は、正しく施工されていないと耐震性に欠け、倒壊した場合、死傷者が出るなど大変危険です。また、倒壊すると避難や救助活動の妨げにもなるため、特に通学路や避難路等の道路に面するブロック塀の安全確保が必要です。

ブロック塀について、以下の項目を点検し、ひとつでも不適合があれば危険なので改善しましょう。まず外観で1～5をチェックし、ひとつでも不適合がある場合や分からないことがあれば、専門家（建築士や専門工事業者など）に相談しましょう。



- 1. 塀は高すぎないか
・ 塀の高さは地盤から2.2m以下か。
- 2. 塀の厚さは十分か
・ 塀の厚さは10cm以上か。
(塀の高さが2m超2.2m以下の場合は15cm以上)
- 3. 控え壁はあるか。
(塀の高さが1.2m超の場合)
・ 塀の長さ3.4m以下ごとに、塀の高さの1/5以上突出した控え壁があるか。
- 4. 基礎があるか
・ コンクリートの基礎があるか。
- 5. 塀は健全か
・ 塀に傾き、ひび割れはないか。

<専門家（建築士や専門工事業者など）に相談しましょう>

□6. 塀に鉄筋が入っているか

- ・ 塀の中に直径9mm以上の鉄筋が、縦横とも80cm間隔以下で配筋されており、縦筋は壁頂部および基礎の横筋に、横筋は縦筋にそれぞれかぎ掛けされているか。
- ・ 基礎の根入れ深さは30cm以上か。（塀の高さが1.2m超の場合）

【出典：国土交通省HP、パンフレット「地震からわが家を守ろう」日本建築防災協会2013.1より一部改】

あなたの家の塀は大丈夫ですか？**維持管理は、所有者又は管理者の責任**です。
ブロック塀の倒壊による危険を認識し、**所有者又は管理者の方が点検を実施**していただきますようお願いいたします。